

WCPT-AWP, ACPT 学会は盛会のうちに幕を下ろした。1,057 名の参加者のうち 471 名が日本からの参加であったことから、台湾理学療法士協会から深い感謝の言葉をいただいた。学会で目に付いたのは、日本人若手理学療法士の積極的な学会参加である。日本人の多くは英語を苦手としているためか、これまで経験した理学療法関係の国際学会では参加登録者に比して会場で会う日本人の少なさに興ざめしていたが、親日的で母国語が同じく英語でない台湾での学会ということもあってか、ポスター会場は大変な賑わいであった。

世界はまさにグローバル化の真っただ中。現在、その必要性を感じようと感じまいと、今後はいやでも世界に目を向ける必要に迫られる。時に日本の独自路線や独特な発展はグローバル企業のビジネスマンや大学の知識人からは「ガラパゴス化」と揶揄される。今回の WCPT-AWP, ACPT 学会での光景は、20 年後の理学療法にわずかながら期待が感じられるものであった。

本号の特集は、「呼吸理学療法の過去・現在・未来」。2010 年 6 月号「呼吸機能障害とチーム医療」以来の呼吸関連の特集である。呼吸理学療法は理学療法の分野でも、日本で独自の発展を遂げてきた分野である。私は個人的にはガラパゴス化は好意的にとらえている。日本独自の技術があることには誇りすら覚えることもある。一方、理学療法は、ゾウガメやイグアナと違い、世界の人の健康と長寿を願うものであるからこそ、世界に認められて初めてその価値が享受される。今回、わが国を代表する 5 人の理学療法士に呼吸理学療法の過去・現在・未来について解説していただいた。千住氏は誰もが知る呼吸理学療法のパイオニアであり、その論述には歴史の重みすら感じる。嶋氏氏は ICU 専属の理学療法士として活躍中で、三浦氏は神経筋疾患の呼吸理学療法のリーダー、鶴澤氏は米国呼吸療法士の資格を持つ理学療法士、そして、高橋氏は臨床の最前線で COPD のエビデンスを追い続けている。どの解説も呼吸理学療法発展のマイルストーンになり得るものである。引用論文の多くは外国人によるものであるが、そのなかでも三浦氏の臨床研究グループの論文 (Ishikawa Y, et al: Neuromuscular Disorders, 2011) は日本発のエビデンスとして、世界をリードする論文である。日本の丁寧な医療を世界に向けて発信していく努力を見習いたい。

本号では、偶然にも、嚥下、酸素、栄養など、呼吸に関連する記事が併載された。呼吸理学療法に関する書籍の保存版になることは言うまでもない。

思い返せば、台湾理学療法士協会は東日本大震災の後、いち早く支援を申し出て、1,000 台ものシルバーカーなどを日本に寄贈してくれた。彼らの行為は多くの被災者の支えとなったことであろう。世界の超高齢社会をリードする日本で、日本発の呼吸理学療法が、言葉の壁や国境を越えて世界に拡散し、グローバル化の先駆けになることを期待している。今回 WCPT-AWP, ACPT 学会に参加した若手理学療法士には、そのポテンシャルが十分備わっていると心から期待している。

(高橋哲也)

理学療法ジャーナル

(第 47 巻 第 11 号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2013 年 11 月 15 日発行(毎月 1 回 15 日発行)

定価 1,890 円(本体 1,800 円+税 5%)

〔2013 年 年間購読料(税込、送料弊社負担)冊子版 20,880 円、冊子+電子版/個人 23,880 円、冊子+電子版/共有 27,200 円、電子版/個人 20,880 円、電子版/共有 24,100 円、冊子版/学生割引 16,680 円、冊子+電子版/学生割引 19,680 円、電子版/学生割引 16,680 円〕

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03)3817-5704

(担当: 前野・川上・三由・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

Web <http://www.igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/>

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ [JCOPY] <(株)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
高 橋 正 明
奈 良 勲
福 屋 靖 子

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
金 谷 さとみ
斉 藤 秀 之
高 橋 哲 也
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
福 井 勉
横 田 一 彦
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
稲 員 恵 美
伊 橋 光 二
上 田 陽 之
大 場 みゆき
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
沖 田 実 樹
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
河 野 礼 治
酒 井 桂 太
佐 藤 秀 一
関 屋 昇
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
長 野 由紀江
中 村 春 基
濱 出 茂 治
濱 酒 伸 彦
深 浦 順 一
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里